

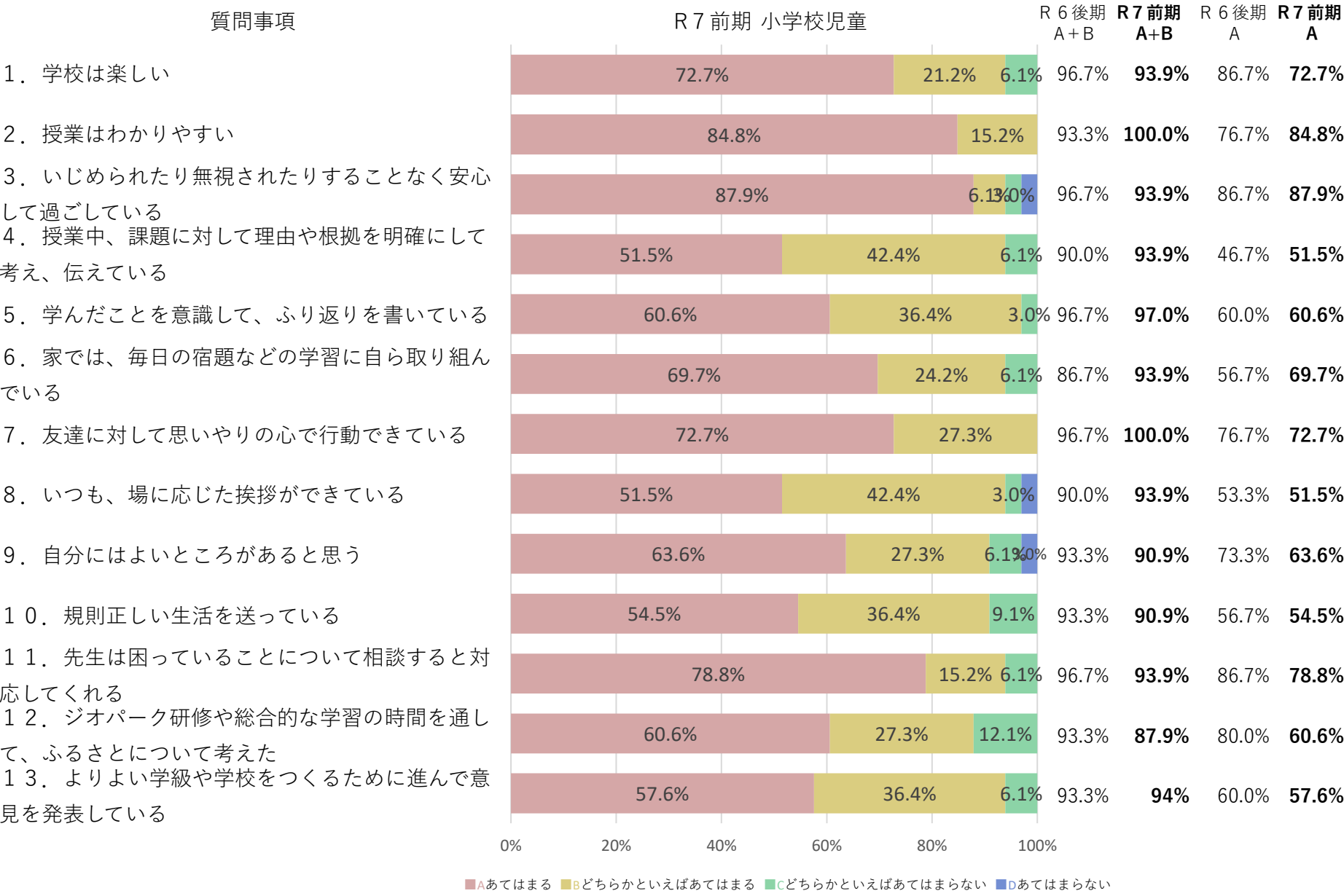
小学校保護者様

白山市立白嶺小学校
校長 高松宏晃

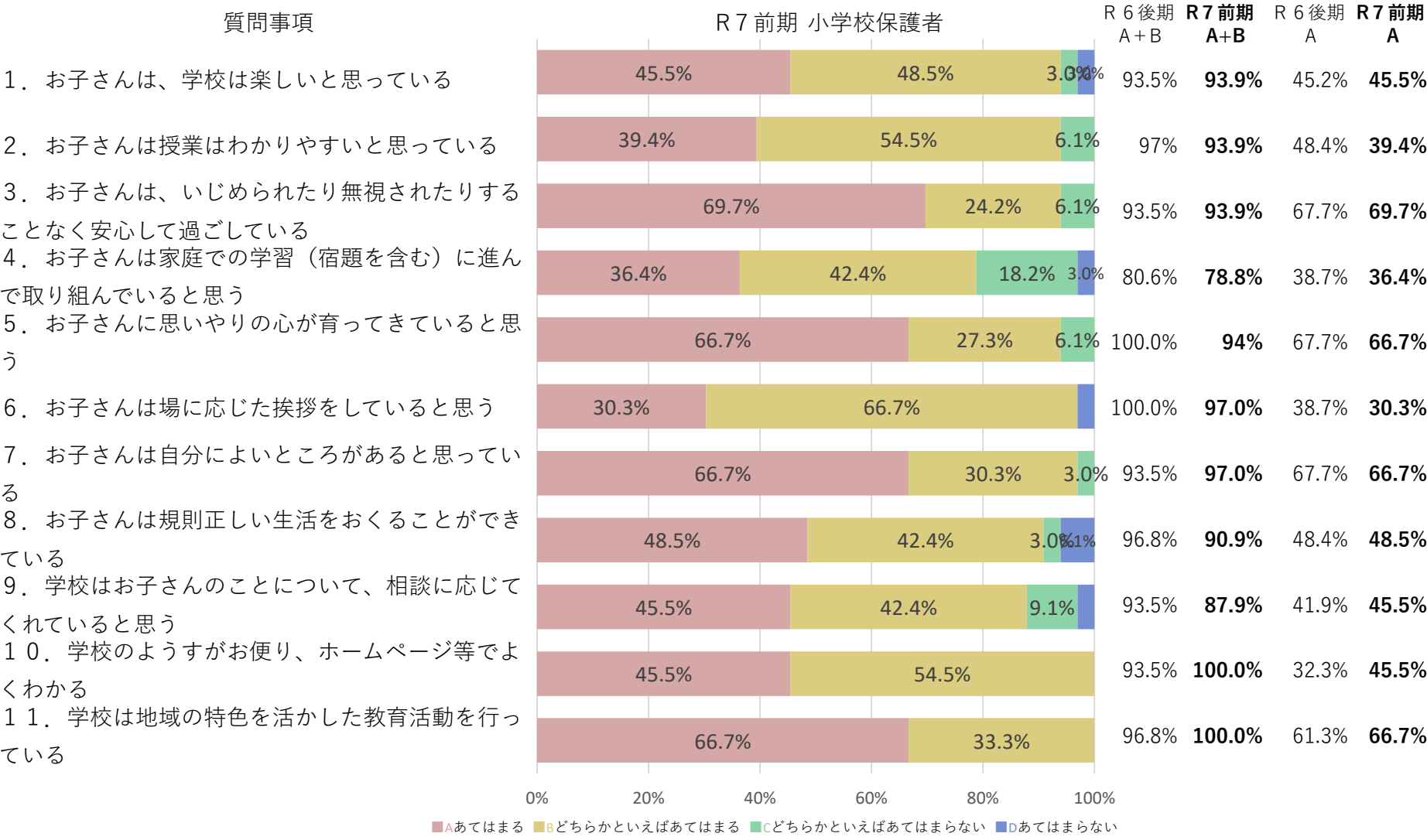
令和 7 年度前期 学校アンケート集計結果等について

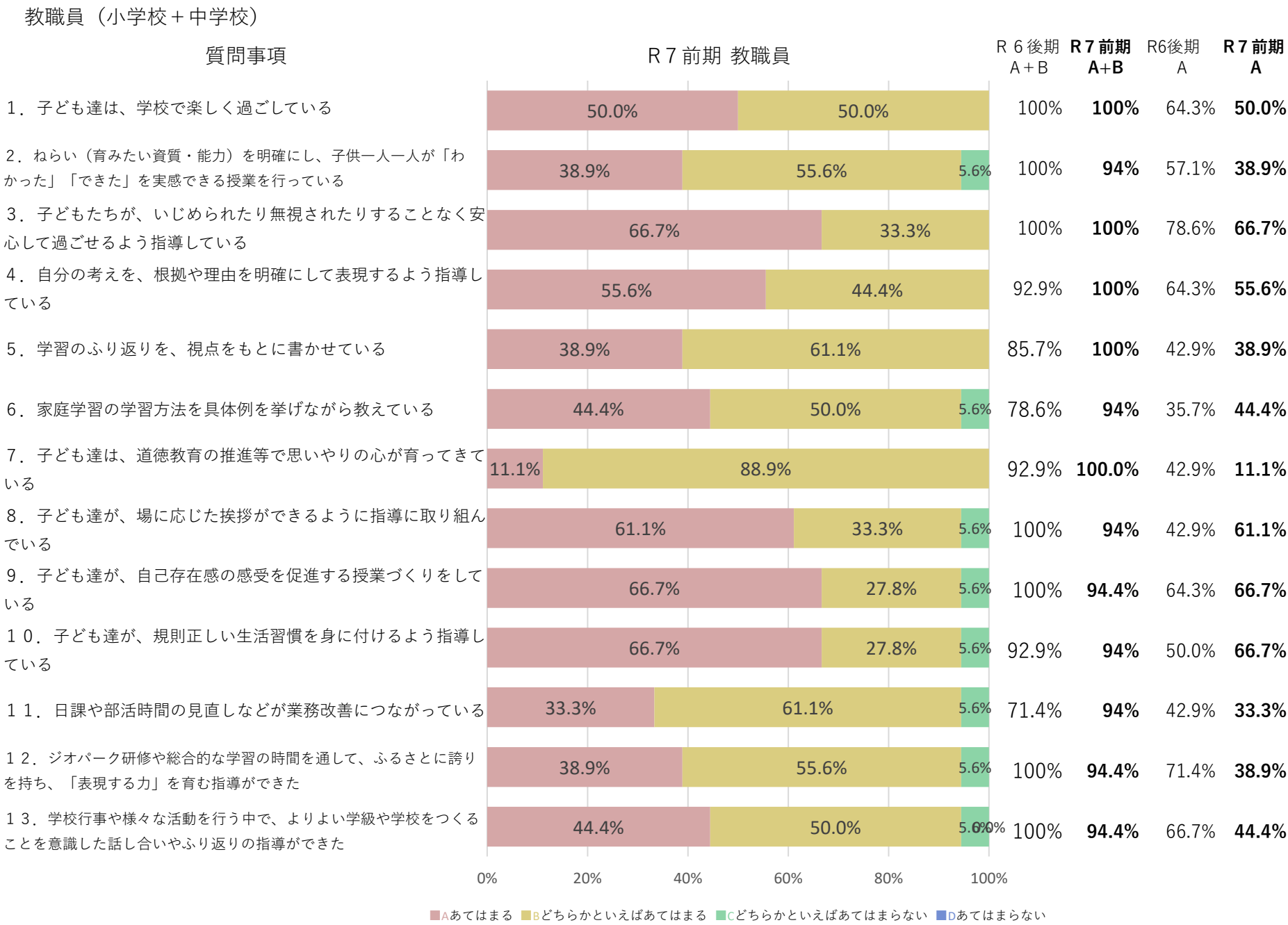
白露の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より本校の教育活動に多大なるご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。前期学校アンケートの集計結果をお知らせいたします。今後この結果を踏まえ、教職員一同、一層の改善に努めていきたいと考えております。

小学校児童



小学校保護者





【よかった点○と課題▲と改善点☆】

〈確かな学力の定着について〉

○「授業はわかりやすい」の項目で、児童の肯定的評価が高く、学習に対して前向きに取り組んでいる様子がわかります。考えを伝えることや書くことに苦手意識をもっている児童もいますが、授業中、自分の考えの理由や根拠を明確にしてみんなに伝えよう、みんなで考えようと参加している児童が多くいます。

○授業では、ふり返りの視点を児童に提示することで、1時間にどんなことを学び、どんな力がついたかという意識を高めることができました。

○家庭学習に進んで取り組むことのできる児童が多くいます。

☆一人ひとりが「わかった」「できた」また、「何ができて、どこがわからないのか」などをはっきりさせ、学ぶ喜びや楽しさ、大切さなどを実感できるような、ふり返りの場を大事にしていきます。また、児童が、自信や意欲を高めていくことにつながるように、「○○さんは、こんな考えをもっていた。」「友達のおかげでできた。」と仲間と共に学ぶよさも感じることもできる授業を積み重ねていきます。

〈生徒指導面について〉

○ふだんの学校生活の様子や生活アンケートの結果をもとに声かけを行い、児童は明るく元気に学校生活を送っています。規則正しい生活についても、家庭の協力のもと「早寝・早起き・朝ごはん」など概ね取り組むことができています。帰宅してから寝るまでの過ごし方（遊び方、メディア時間）についても知ることができました。

▲「場に応じたあいさつ」については、児童のA評価を見ると51.5%、保護者のA評価は30.3%とやや低くなっています。

☆規則正しい生活については、これまでと同様に家庭と協力しながら児童に働きかけていくことが必要です。特に、メディア時間が長くなることで、生活リズム等が崩れていく傾向があることから、児童が自分の時間の使い方について自覚し、改善していくことができるような取組を検討し、進めていきます。

☆今後も児童の様子を観察し、生活アンケートの結果や児童の困り感に対する面談を行っていきます。アンテナを高くして、児童一人ひとりにきめ細かな指導・支援を心がけ、保護者との連携を密に行っていきます。

〈特別活動について〉

○学校行事等何事にも前向きに取り組み、学年を越えて温かな交流の姿が見られます。

☆今後も、活動のめあてや見通しを持たせ、学年に応じた取り組み方を検討しながら、児童の創造的な活動になるように支援してきます。また、地域の豊かな自然を生かした体験活動を通して、地域のよさを学び、子ども達の成長をさらに促すことができるように工夫していきます。

〈学校関係者評価委員会より〉

○「授業はわかりやすい」「友達に対して思いやりの心で行動できている」などA+B評価が100%となっている項目があり、子ども達は前向きに取り組み、がんばりを認められていることがうかがえます。

☆今後も教師は一人ひとりを認め、児童同士も互いに認め合える場を設定しながら、自己肯定感を高められるように進めていきます。

